

平成28年度第1回 子ども・子育て会議 会議録

平成28年9月1日(木) 16:00~17:00
今治市役所 第1別館10階 101会議室

平成 28 年度 第 1 回 今治市子ども・子育て会議 会議録 (概要)

- 1 日 時 平成 28 年 9 月 1 日 (木) 16:00~17:00
- 2 会 場 今治市役所 第 1 別館 10 階 101 会議室
- 3 議 題 今治市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
- 4 報 告 児童健全育成部会より
施設選定部会より
- 5 出席者 【委 員】 12 名
泉 浩 徳 委 員、松本修平委員、野崎幸子委員、御堂和貴委員
八木良二委員、龍田三津子委員、森一男委員、清水正恵委員
秋山辰郎委員、矢野信子委員、高須泰裕委員、梶原淳一委員
【事務局】 17 名
健康福祉部長、健康推進課長、福祉政策課長、障がい福祉課長
子育て支援課長、保育課長、学校教育課主幹、子育て支援課長補佐 2 名
保育課長補佐 2 名、保育課企画係長、子育て支援課こども福祉係長
子育て支援課こども健全育成係長、子育て支援課子育て支援係長
子育て支援課子育て支援係主査、子育て支援課子育て支援係主事
- 6 欠席者 【委 員】 5 名
福田安民委員、村上正親委員、久米真佐美委員、渡邊美幸委員
岡田亜紀委員

7 会議内容

会 長	当会議の開会 会長挨拶
会 長	新任委員の紹介 (八木良二委員、矢野信子委員)
八木委員 矢野委員	自己紹介
会 長	議事録署名委員に龍田三津子委員を指名

会 長	人事異動により新たに事務局となった職員の紹介（福祉政策課長、障がい福祉課長、子育て支援課長、保育課長）
事 務 局	自己紹介
会 長	次第 2 議題に進み、今治市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について説明を求める。
事 務 局	今治市子ども・子育て支援事業計画及び資料 1、資料 2 にもとづき、平成 27 年度確保内容と実績について報告した。 （資料 2 については、各基本目標ごとに抜粋して報告）
会 長	委員に質問、意見等を求める。
会 長	資料 2 6 頁のスクールソーシャルワーカーについて 今治市において、小・中学校にスクールソーシャルワーカーの教員は配置されているのか。
八木委員	全小・中学校ではないが、主だった小・中学校には教員 OB 等の先生が配置されている。それ以外は、ハートなんでも相談員等スクールカウンセラーという形で何らかの相談員がほぼ全学校に配置されている。
清水委員	資料 2 10 頁の (2) 思春期保健対策の充実について 小・中学校にて薬物、喫煙、健康、性等いろいろな内容で講演会等を実施していただいているみたいですが、これは地域の PTA、その他ボランティア関係者等も参加できるのか。
八木委員	学校によって取組みが異なると思いますが、児童・生徒と父兄も含めて外部講師に指導していただくこともある。また、児童・生徒のみ対象で学習する時もある。それぞれの学校で案内する対象が少し異なっていることがある。
清水委員	要望としては、せっかく先生が来られるので大勢の父兄等に聴いていただければと思う。行ける範囲であれば寄らせていただきたいと思うような項目もある。


八木委員	校長会にて、地域の方、健全育成関係団体の方等ご案内するようにお話があったことを報告する。
会 長	次第 3 部会報告に進み、児童健全育成部会の報告を求める。
事務局	資料 3 資料 4 にもとづき、平成 27 年度第 1 回今治市子ども・子育て会議児童健全育成部会及び平成 28 年度第 1 回今治市子ども・子育て会議児童健全育成部会の報告を行った。
会 長	委員に質問、意見等を求める。
会 長	施設選定部会の報告を求める。
事務局	資料 5、資料 6 にもとづき、平成 28 年度第 1 回今治市子ども・子育て会議施設選定部会及び平成 28 年度第 2 回今治市子ども・子育て会議施設選定部会の報告を行った。 平成 29 年度病児保育施設整備助成事業の事前申込書の提出について、今現在、応募者はなしという状況である。
会 長	松本委員。募集の手が挙がらない状況であるが何かあるのか。
松本委員	医療法人あおい小児科が 1 件決まっているのではないかと思う。 ときどき小児科の先生と話しをするときがあるが、このような事業を実施するとなると、今治市には小児科の若手の先生が 3 人ぐらいいる。その先生方に聞いてみたが、以前に比べて開設時の補助のバックアップが格段に良くなっている。但し、その後の運営について、スタッフが集まるかという問題があると言われていた。 具体的には「病後児保育」ではなく、「病児対応型」ということになっているため、おそらく職員は看護師が必要になってくると思う。ところが、今の現状、今治市内の病院はどこも、特に小児科について、病院の看護師を集めるにも四苦八苦している状況である。その中で、施設を拡張して、またその事業に職員を集めるとなると、可能なのかというようなことをおっしゃっている先生がいた。 また、具体的な補助について、文書もらったが非常に難しく分かりにくい。若い先生で以前、開院するときには病児保育しようかと言っていた先生がいた。若い先生のところに直接行って色々な説明、疑問等を一

事務局	<p>度、聞いたらどうかと思う。</p> <p>人の問題や制度自体も色々と変わってきている。また、医療法人あおい小児科がまだ現実に開業、開設をしていないという状況の中で、色々な意見をいただいている。</p> <p>提出期限の延長を行った後、全てではないが個別に回らせてもらった。松本委員がおっしゃったような意見をいただいたり、逆に関心を持たれた方もいた。</p> <p>説明が不十分であったかもしれないので、出向いて行き周知活動を行っていきたいと考えている。</p>
会長	<p>次第 4 その他に進み、委員質問、意見等を求める。</p>
矢野委員	<p>資料 2 9 頁の (1) 児童健全育成について</p> <p>引きこもり、不登校対策という形でコスモスの家を設置したとの記載があり進捗状況の記載もあるが、在籍者数というのはコスモスの家に通っている中学生 11 人ということか。</p> <p>また、現在手をつなぐ育成会等でも発達障がいのある子どもが学校に行きにくいということで保護者の方から意見をもらっている状況である。コスモスの家に行かない子ども達、家に引きこもっている子ども達への学校からの対策、指導は現在あるのか。分かる範囲で教えてほしい。</p>
事務局	<p>実際の数は把握できていないが、各中学校で対応には全力を尽くしている。引きこもりの子どもというのは、様々な要因が複雑に絡み合っているので、ケース会議を開いて子どもの理解に努めている。校内でも校内研修でその子どもについて、職員の共通意識を図ったりしてその子ども一人一人に、一体どのように対応していけば良いか、どのようなニーズを持っているのか、把握に努めている。なかなか特効薬というものはないので、継続して情報を集めている。</p>
会長	<p>八木委員から説明のあったスクールカウンセラー、ソーシャルワーカー等相談員の方はいるが、それだけでは不十分なところもあるかもしれない。発達障がいも増えてきている。他県では社会福祉士会がスクールソーシャルワーカーで出向いて行き、成果をあげていると聞いている。今治市にもそのような制度があればと考えている。予算の関係があり、幼稚園、保育所等難しいかもしれないが、今後少しずつ改善に向かってい</p>

野崎委員	<p>くと思っている。</p> <p>スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員について、小学校は主にハートなんでも相談員だと思うが、ハートなんでも相談員と各中学校のソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの連携というのが少し手薄な気がするが、今後その点の連携等について、どのように考えているのか。</p> <p>ハートなんでも相談員の研修が年 2 回ある。そこに中学校の先生が来ているが全体会であり、地域での連携は今後考えているのかを聞きたい。</p>
事務局	<p>ハートなんでも相談員は中学校に 4 校ほど入っており活動している。具体的な連携としては、ケース会議等に参加してもらいそれぞれの立場から子どもについての意見を頂いている。ご指摘のとおり十分であるとは言い難いため、今後の課題として検討していきたい。</p>
松本委員	<p>資料 2 15 頁の (1) 子どもや母親の健康の確保について</p> <p>実施事業にて母子健康手帳の交付等色々あるが、実際に小児科を開院している中で、予防接種というのは非常に大きな意味があると考えている。乳幼児健康相談、乳幼児健康診査等を項目として挙げているのであれば、予防接種事業ということで、子どもの予防接種に対する啓蒙啓発を行うというような項目も、次年度ぐらいから挙げていただけたら大変ありがたい。</p> <p>具体的にどのようにするかだが、例えば今秋から B 型肝炎ワクチンがすべての子ども達が受けられるようになるという事業が始まる。今までは、母親が B 型肝炎でその母親から生まれた子どもは感染の危険が高いということで保険適用であったが、WHO の勧告等もあり日本でもようやくすべての子ども達の定期接種が無料で受けられるようになった。しかし、その対象者が今年 (平成 28 年) の 4 月生まれ以降の子どもになっており、さらに 10 月から始まって接種し終わらなければならないのが平成 29 年 3 月末までとなっている。</p> <p>その間に 3 回接種する必要があるため、もしかすると病気等により接種できない可能性がある。そのような子どもに対し、国の方からではなく今治市の方から、子ども・子育て支援新制度の中で、国がカバーできないところをカバーするという事もできればやっていただきたいと考える。</p>

事務局	平成 28 年 10 月 1 日から B 型肝炎が定期接種になる。非常にタイトなスケジュールで 3 回の接種をしなければならない。公費助成の中で受けられない子どもが出てくる恐れがある。今後も引続き検討していくが、現在、県下において定期接種を外れる部分を行政措置で助成するという動きはない。出来るだけ啓発に努め、ホームページや広報に掲載するとともに 4 月以降に子どもが生まれた家庭には個別接種の通知をしている。現時点では具体的に措置をとるかというのはまだ決まっていない。状況を見ていきたいと思っている。
会長	今治市で学習支援事業を実施していると思うが、対象者は中学生ですね。小学校の高学年や所得 200 万円以下の世帯等、予算の関係があるかとは思いますが、そのような生徒も対象にできないのか。
事務局	平成 28 年 8 月から集合型、4 月からは訪問型を始めている。この目的は、高等学校を出て色々な知識を学んで世代間の貧困の連鎖を防止したいというところから始めている事業である。当面は、現在の生活保護の中学生を対象として実施していきたいと考えている。 もう少し時間が経てば色々な着想、発想が出てくるかと思う。
会長	当会の閉会

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

会長 泉 浩徳 

署名委員 龍田 三津 